

大安寺報

お盆に寄せて

今年も又、お盆が巡ってきました。東日本大震災で多くの方々が亡くなり、また未だにご遺体が見つからない方もいらつしやる中、今年のお盆をいつもとは違った心境で迎えられる方も多いのではないのでしょうか。

この震災により、戦後の私たちが抛り所にしてきた「物質的な豊かさ」が、大

自然の営みの前に、いかにもろく、はかないのか、私たちは気づかされたのではないのでしょうか。その一方で、震災報道でクローズアップされたのが、人々の「絆」です。被災地では、家族のみならず、近所に住む人同士、時には見知らぬ人同士が身を寄せ合い、助け合って来られました。「絆」が命を助け、さらに新たな「絆」が生まれ、極限の状態の中で、それぞれが生きる場において、生きる力を産み出し続けて来たのです。

「絆」の語源は、「離れないよう繋ぎとめる綱」。人と人が、ただ漫然と触れ合っているだけでは、「絆」は育まれません。互いが「大切な存在」であると、相手を認めて一歩ずつ歩み寄りなれば、その関係は単なる「知り合い」に留まります。今回の震災では、故郷・東北を愛する

人々が志半ばで津波の露と消え、また、原発事故という「人災」で故郷を離れざるを得ませんでした。今回、被災を免れ、この世に残された私たちはそのことをよくよく考え、同じ東北に生きる者同士、同じ東北に縁のある者同士が手をたずさえ、「安心安全な社会づくり」「観光振興」「(原発に依存しない)産業の創出」「少子高齢化への対応」など、無数ある諸課題に取り組んでいくべきでしょう。

当寺では、このお盆は様々な行事をご用意して、皆さまをお待ちしております。そして、どうぞその場において、沢山の方と語り合い、故郷に寄せる思いを伝え合い、絆を育む機会としていただきたい。その絆が、互いの人生に力を与え、この町を元気にし、ひいては東北を元気にするよう、当寺は微力を尽くして参ります。



蓮の花は、その根を泥にうずめているからこそ、美しい花を咲かせます。私たちの人生もまた、苦しい経験、辛い経験があつてこそ、美しい花を咲かせるのです。

仏事 Q & A 第七回

Q. 法事依頼の際に、伝える項目は?

A. 直接のご来訪・電話・メール・Fax 等にて、以下の項目をお伝えください。

※お盆やお彼岸、ゴールデンウィークは大変込み合います。なるべく早めのご連絡をお願いいたします。
※もしご不明な項目がございましたら、わかる範囲で結構です。

一、希望日時

※当寺の予定により、ご希望に沿えない場合がございます。あらかじめご了承ください。

二、氏名(施主)

三、連絡先(施主)

四、法要趣旨

① 回忌法要(何回忌か)

② 納骨

③ その他(回忌法要以外の追善供養)

五、亡くなった方の氏名

※複数の場合は全員の氏名

六、亡くなった方全員のご命日

※年月日をお願いします。

七、塔婆が必要かどうか

八、その他

※墓前供養のみ場合は、その旨をお伝えください。

■大安寺ホームページ
<http://www.daijanji.jp>
■大安寺携帯サイト
<http://keитай.daijanji.jp>



携帯サイト QR コード

大安寺の宗旨：曹洞宗 本山：福井県永平寺・神奈川県總持寺 高祖：道元禪師 太祖：瑩山禪師
ご本尊：釈迦牟尼仏 本尊唱名：南無釈迦牟尼仏(なむしゃかむにぶつ)